

令和8年度 日本産業動物獣医学会（東北地区）

日本産業動物獣医学会 学会長 佐藤 繁

日本産業動物獣医学会東北地区 学会長 高橋 透

令和8年9月11日(金) 第1会場 3階 アプローチ大

開 会	9 : 00
地区学会長挨拶	9 : 00
学 会 長 挨 拶	9 : 05
褒 章(奨励賞)	9 : 10
講 演(午 前)	9 : 20～11 : 50
ランチョンセミナー	12 : 00～13 : 00
講 演(午 後)	13 : 10～15 : 20
閉 会	15 : 20

〈講演・質疑討論要領〉

1. 講演時間は8分、質疑討論は2分以内とし、時間は厳守してください。
2. 演者の方は、発表開始の10分前までに次演者席へご着席ください。
3. 質疑の際は、必ず氏名および所属機関を述べたうえでご発言ください。
4. 質疑討論の進行は座長に一任されておりますので、指示に従ってください。

ランチョンセミナー

演 題 ワンヘルス時代を拓く健全育成戦略
— ポストイムノバイオティクス研究の最前線と獣医療への新展開 —

講 師 東北大学大学院農学研究科 教授

北澤 春樹 先生

協 賛 ミヤリサン製薬株式会社

講師プロフィール(略歴)

東北大学農学部畜産学科卒(1986年 3月)・同大大学院農学研究科博士課程前期修了(畜産学専攻)・同大農学部助手、助教授、准教授、教授(2019年4月～)、ディスティングイッシュトプロフェッサー(2026年5月～)を経て現在に至る。食と農免疫国際教育研究センター長、農学研究科長・学部長を歴任。その間、日本学術振興会海外特別研究員としてアメリカ国立ガン研究所/アメリカ国立衛生研究所(NCI/NIH)に留学。専門分野は食品・飼料免疫学。

日本畜産学会賞、日本食品免疫学会賞、森永奉仕賞、「世界の発酵乳」論文賞、2025年度日本農学賞／読売農学賞、2026年春 紫綬褒章。

講演要旨

人・動物・環境の健康を一体として捉えるワンヘルスの実現には、感染症が発生してから治療するだけでなく、家畜が本来備える生体防御力を日常的に高める「健全育成」への転換が不可欠である。本講演では、粘膜免疫調節能を有する有用微生物(イムノバイオティクス)の研究を基盤に、その死菌体や菌体由来成分を活用する「ポストイムノバイオティクス」の最新知見と、獣医療への将来性を概説する。

家畜由来の小腸上皮細胞や肺胞マクロファージを用いた評価系により、乳酸菌株ごとに異なる自然免疫調節能を可視化し、自然免疫受容体を介した炎症制御・抗ウイルス応答の分子機構を明らかにしてきた。とりわけ、腸管への働きかけが呼吸器免疫にも波及する「腸—肺軸」の理解は、局所感染にとどまらない全身的な疾病抵抗性を設計する新たな視点をもたらす。生菌を用いないポストイムノバイオティクスは、保存性、製剤化、品質管理、安全性の面で応用上の利点が期待され、飼料、初乳期の生理機能支援、経口・経鼻素材など多様な形態へ展開し得る。

次の研究段階は、細胞評価から動物実証、さらに農場での現場実装へと橋を架けることである。腸内細菌叢、宿主の遺伝子多型、発育段階、飼養環境を統合し、個体や群の免疫状態に適した素材を選択する「精密健全育成」へ進化させることで、幼若期の下痢や呼吸器感染症の予防、ワクチン応答の補完、慢性炎症の適正化、抗菌薬使用量の低減を同時に目指すことが可能となる。

ポストイムノバイオティクス研究は、獣医療を治療中心から予防・免疫デザイン中心へ拡張し、薬剤耐性対策、家畜福祉、生産性、食品安全、さらには人の健康をつなぐ実装科学として位置付けられる。微生物の力を「生きた菌」だけに限定せず、その機能情報を安定した技術へ変換することが、ワンヘルス時代を拓く次世代の健全育成戦略にとって極めて重要な視点となる。

令和8年度 日本産業動物獣医学会（東北地区）プログラム

座長：田村 貴（岩手県中央家畜保健衛生所）

(9 : 20～9 : 30)

1. 非定型豚ペスチウイルス（APPV）感染豚でみられた血液性状
○塩原綾早、大関貴大

宮城県仙台家保

(9 : 30～9 : 40)

2. 哺乳子牛における胸部超音波検査を用いた肺炎の早期診断への取り組み
○佐藤 至¹⁾、三浦新平²⁾

1) 山形県農共北部家畜診庄内出張所、2) 山形県農共南部家畜診

(9 : 40～9 : 50)

3. 黒毛和種子牛の呼吸器病多発事例と再発防止に向けた取り組み
○高橋春美¹⁾、植田郁恵²⁾

1) 宮城県東部家保、2) 宮城県北部家保

座長：高森広典（宮城県仙台家畜保健衛生所）

(9 : 50～10 : 00)

4. 採卵鶏における*Streptococcus gallinaceus*感染症
○野崎 陸、今野立大

山形県中央家保

(10 : 00～10 : 10)

5. *Enterobacter cloacae*および*Kluyvera intermedia*が分離され、眼球白濁と神経症状を呈した新生子牛の1例
○新号琴音¹⁾、菅野智裕¹⁾、朴 天鎬²⁾、田邊太志³⁾、佐藤将伍¹⁾、佐々木彩乃⁴⁾、
前田洋佑¹⁾、高橋史昭¹⁾

1) 北里大・大動物臨床、2) 北里大・獣医病理、
3) 北里大・獣医微生物、4) 北里大・附属動物病院

(10 : 10～10 : 20)

6. *Salmonella* Dublinによる牛サルモネラ症の発生事例と分離株の性状
○高橋 玲、大上來世紀、阿部和馬、土岐 翠、太田智恵子

青森県中央家保

..... 休 憩 10 : 20～10 : 30

座長：勝見正道（仙台医療センター ウイルスセンター）

(10 : 30～10 : 40)

7. 牛ウイルス性下痢ウイルス遺伝子欠損型生ワクチン株と野外株の識別RT-PCR法の開発

○篠田 肇¹⁾、安藤清彦²⁾、西森朝美²⁾、岩崎新也²⁾、松浦裕一²⁾

1) 福島県中央家保、2) 動衛研

(10 : 40～10 : 50)

8. 頭部腫脹症候群と診断された肉用鶏3症例におけるトリメタニューモウイルスの関与

○竹内翔子¹⁾、嶽間澤直弥¹⁾、鈴鹿弘顕¹⁾、小澤大地²⁾、五嶋祐介¹⁾

1) 岩手県中央家保、2) 岩手県県北家保

(10 : 50～11 : 00)

9. 伝染性ファブリキウス嚢病ウイルス検査法の検討

○木村威凱¹⁾、林 敏展¹⁾、平松香菜恵²⁾

1) 青森県中央家保、2) 動衛研

座長：和田賢二（山形県農業共済組合）

(11 : 00～11 : 10)

10. 岩手県県北地域の放牧牛におけるマグネシウムおよびセレンの欠乏リスク評価

○吉田茉優¹⁾、茂木美和¹⁾、熊谷芳浩¹⁾、千葉由純²⁾

1) 岩手県県北家保、2) 岩手県中央家保

(11 : 10～11 : 20)

11. 黒毛和種24ヶ月齢短期肥育牛における枝肉一価不飽和脂肪酸割合と肥育期間中のリポタンパク質分画との関連性

○高橋知也¹⁾、塩原真由美²⁾、斎藤萌佳²⁾、前道一貴³⁾、近藤太郎³⁾、佐伯健太郎⁴⁾、笠島総司⁴⁾、佐々木孔亮⁵⁾

1) 宮城県農共中央家畜診古川支所、2) 宮城県農共中央家畜診、

3) 宮城県農共県北家畜診、4) 宮城県農共県南家畜診、5) 宮城県畜試

(11 : 20～11 : 30)

12. 超音波検査により腎盂腎炎の診断に至った黒毛和種の一例

○安齋莉穂、神力 亮、橋本陽太、横山哲郎、樋口貞行

福島県農共郡山田村家畜診

座長：高橋史昭（北里大学獣医学部）

(11 : 30～11 : 40)

13. 給餌前pHを基準としたAUCによる移行期乳牛の前胃液pH評価と乾物摂取量および乳量との関連

○鈴木雄大¹⁾、近藤寛人¹⁾、田承 容¹⁾、木南藍子¹⁻³⁾、土谷佳之^{2,3)}、
松田敬一^{2,3)}、木村 淳¹⁻³⁾

1) 岩大・産業動物内科、2) 岩大・附属動物病院、
3) 岩大・産業動物臨床・疾病制御教育研究センター

(11 : 40～11 : 50)

14. 黒毛和種雌牛における分娩前増給時の糖代謝の変化および塩酸ベタイン添加による影響

○木南藍子¹⁾、平田統一¹⁾、高橋 透¹⁾、一條俊浩^{1,2)}、猪熊 壽^{1,3)}

1) 岩大、2) ㈱ライブストックマネジメントサービス、3) 東大

..... 昼 休 み 11 : 50～13 : 10

(12 : 00～13 : 00)

■ ランチョンセミナー ■

テーマ：「ワンヘルス時代を拓く健全育成戦略

— ポストイムノバイオティクス研究の最前線と獣医療への新展開 —」

講 師：北澤春樹 先生（東北大学大学院農学研究科）

提 供：ミヤリサン製薬株式会社

座長：高橋 透（岩手大学獣医学部）

(13 : 10～13 : 20)

15. 直腸膣前庭瘻を伴う鎖肛を認めたサフォーク種子羊の一例

○島村 舞¹⁾、佐藤将伍¹⁾、安藤 亮¹⁾、佐々木彩乃¹⁾、前田洋佑¹⁾、松崎正敏²⁾、
菅野智裕¹⁾、高橋史昭¹⁾

1) 北里大、2) 弘前大

(13 : 20～13 : 30)

16. 分娩後子宮疾患の経時的評価と繁殖成績との関連：検診時期の検討

○近藤大祐^{1,2)}、菅野智裕²⁾、佐藤将伍²⁾、前田洋佑²⁾、高橋史昭²⁾

1) 宮城県農共県南家畜診、2) 北里大 大動物臨床学

(13 : 30～13 : 40)

17. 前十字靭帯断裂と診断された若齢牛10例の臨床概要

○田村倫也¹⁾、尾形 透²⁾、庄野春日¹⁾、千葉恵樹²⁾、吉田晴香¹⁾、庄野英子¹⁾、
工藤 力²⁾

1) 岩手県農共基幹家畜診、2) 岩手県農共県央家畜診

座長：堀籠 茂（福島県農業共済組合）

(13 : 40～13 : 50)

18. 子牛の一般疾患におけるD-dimer値の分布とその臨床的解釈

○伊藤理子^{1, 2)}、鎌田哲也¹⁾、今野 誠¹⁾、佐藤 洋²⁾

1) 秋田県農共中央部家畜診、2) 岩大

(13 : 50～14 : 00)

19. 黒毛和種およびホルスタイン種子牛における3日齢の末梢血単核球のサブセットの比較について

○近藤寛人¹⁾、鈴木雄大¹⁾、田承 容¹⁾、木南藍子¹⁻³⁾、土谷佳之^{2, 3)}、
松田敬一^{2, 3)}、木村 淳¹⁻³⁾

1) 岩大・産業動物内科、2) 岩大・附属動物病院、
3) 岩大・産業動物臨床・疾病制御教育研究センター

(14 : 00～14 : 10)

20. 黒毛和種子牛における頸部胸腺横断面積を用いた疾病発症予測指標の検討および血清総蛋白との併用による疾病発症率の比較

○高橋悠介¹⁾、大橋さやか²⁾

1) 山形県農共南部家畜診、2) 山形県農共家畜診研修センター

..... 休 憩 14 : 10～14 : 20

座長：真田慶之助（秋田県農業共済組合 県南家畜診療所）

(14 : 20～14 : 30)

21. 長期経過をたどった黒毛和種子牛の偽牛痘症例の病態機序に関する考察

○古田信道¹⁾、水戸部俊治²⁾、白鳥孝佳²⁾、高橋宏充²⁾、須藤庸子¹⁾

1) 山形県最上家保、2) 山形県中央家保

(14 : 30～14 : 40)

22. 黒毛和種去勢牛における牛パピローマウイルス 2 型が関与した鼻線維腫

○嶽間澤直弥¹⁾、竹内翔子¹⁾、五嶋祐介¹⁾、田村倫也²⁾、庄野春日²⁾、熊谷芳浩³⁾、
西浦 颯⁴⁾、芝原友幸⁴⁾

1) 岩手県中央家保、2) 岩手県農共基幹家畜診、
3) 岩手県県北家保、4) 動衛研

(14 : 40～14 : 50)

23. めん羊の鼻腔内に認められた腫瘍の病理組織学的検索

○岸田竜馬、齋藤拓海

宮城県仙台家保

座長：林 敏展（青森県中央家畜保健衛生所）

(14 : 50～15 : 00)

24. フリーストール牛舎における牛伝染性リンパ腫再清浄化への取り組みと経済性の
検討

○新田英樹

(株)新田家畜管理サービス

(15 : 00～15 : 10)

25. 免疫グロブリン軽鎖 (IgL) クローナリティ PCR によりモノクローナル増殖が証明さ
れた牛伝染性リンパ腫の 1 症例

○笠井 圭^{1, 2)}、渡邊義人³⁾、後藤和樹²⁾、石川 諒²⁾、前澤誠希²⁾、
チェンバーズ ジェームズ²⁾、内田和幸²⁾、猪熊 壽²⁾

1) 日本全薬工業 (株)、2) 東大、3) いばらき広域農共

(15 : 10～15 : 20)

26. Cassette-Ligation-Mediated-PCR 法による BLV 組込み部位解析手法の開発

○徳江望実¹⁾、夏目空智^{1, 2)}、岩下未来¹⁾、五嶋未沙³⁾、藤原日出子³⁾、山田慎二¹⁾、
村上賢二¹⁾

1) 岩大、2) 札幌市保健福祉部、3) 岩手県食衛検